点と線（1958）

メディア 映画
ジャンル サスペンス　ミステリー
製作国　日本
色彩　Color
時間　85分
初公開日 1958/11/11

【解説】
　松本清張が初めて手がけた長編推理小説でベストセラーとなった同名作品を、井手雅人が脚色し小林恒夫が監督したミステリー。
　博多郊外にある香椎の海岸で一組の男女の心中遺体が発見される。とある省庁の佐山課長補佐と料理割烹の女中であるお時だった。所轄の鳥飼刑事は二人の死に疑問を抱く。お時の同僚の八重子が、東京駅で二人を見かけたと証言。警視庁の三原刑事は電車の運行表を調べ上げ、13番ホームから15番ホームを見渡せるのは、1日に4分間しかないことを突き止める。八重子の証言から省庁に出入りする安田という男が捜査線上に浮上するが、二人が死亡したその日、安田は出張で北海道へ行っていたことが分かった。

【クレジット】
監督　小林恒夫
企画　根津昇
原作　松本清張
脚色　井手雅人
撮影　藤井静
美術　田辺達
編集　祖田富美夫
音楽　木下忠司
助監督　飯塚増一
出演

南広	三原紀一
山形勲	安田辰郎
高峰三枝子	妻　亮子
加藤嘉	鳥飼重太郎
志村喬	笠井警部
堀雄二	捜査第二課長
河野秋武	土屋刑事
成瀬昌彦	佐山憲一
小宮光江	お時
月丘千秋	八重子
三島雅夫	石田部長
増田順二	佐々木事務官
明石潮	長谷川医師
神田隆	佐山の兄
花沢徳衛	果物屋の親爺

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

楠トシエ	＜かき舟＞の女中
風見章子	＜海風荘＞の女将
織田政雄	警察医
清村耕次	勤め人風の男
永田靖	大島刑事部長
光岡早苗	とみ子
奈良あけみ	まゆみ
吉川英蘭	河西
曽根秀介	石井刑事

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.